

第16回 岩内町地域公共交通活性化協議会 議事録

議 事 内 容

日 時	平成30年6月27日(水) 14:00~14:40
会 場	岩内町役場 2階 会議室1
出席者	22名(うち代理出席4名) 欠席4名 別紙出席者名簿のとおり
事務局	3名

1. 開会

会長より、委員に委嘱状の交付

2. 猪口会長よりあいさつ

本日は、ご多忙のところ、お集まりいただき、誠にありがとうございます。

また、新たに委嘱状を交付させていただきました委員の皆様におかれましては、これからどうぞよろしく願いいたします。

さて、この協議会も16回目を開催する運びとなりました。バス事業者様、後志総合振興局様、北海道運輸局様、千葉先生におかれましては遠路からお越しいただき、ありがとうございます。また、本日ご出席いただいております、各委員の皆様におかれましては、日頃から、本町の「まちづくり」に多大なお力添え、ご理解をいただき心よりお礼申し上げます。

さて、平成28年10月より運行を開始している、いわない循環バス「ノッタライン」については、平成29年度の利用者実績は、年間約3万人、月平均約2,500人の方にご利用をいただいております、コミュニティバス利用の定着が着実に進んでいるものと考えております。

今後につきましても、関係各所との連携を密にし、安全・安心な移動手段の確保のみならず、公共交通を核とした地域の活性化に取り組んでいきたいと考えておりますので、皆様のより一層のご理解、ご協力、お力添えをよろしくお願いいたします。

本日の協議会では、「ノッタライン」の新車両運行開始について、平成31年度の地域内フィーダー計画(案)についてなど、ご説明させていただきますので、ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

本日は、限られた時間となっておりますが、委員の皆様には忌憚のないご意見を頂戴してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

簡単ではございますが、開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。

3. 報告事項

- 1) 報告第1号 岩内町地域公共交通活性化協議会委員の変更について
 - 事務局より各委員紹介。

- 2) 報告第2号 第15回岩内町地域公共交通活性化協議会の結果について
 - 事務局より資料に沿って説明
 - ・ 第15回協議会の報告事項、議題等について報告。

- 3) 報告第3号 平成29年度事業報告について
 - 事務局より資料に沿って説明
 - ・ 平成29年度協議会の開催状況について報告。
 - ・ いわない循環バス ノッタライン運行事業について、目安箱(利用者アンケート)の設置、年間利用者数等について資料 1のとおり報告。

- 4) 報告第4号 平成29年度会計決算及び監査報告について
 - 事務局より資料に沿って説明
 - ・ 協議会会計の決算内訳について報告。歳入歳出は、同額の88,590円となっている。歳出の内訳は主に、アドバイザー謝礼、事務局の旅費、たら丸ポイントカード負担金、バスラッピング考案者に対するお礼品購入代、などとなっている。
 - ・ 別紙により会計監査結果を報告。

- 5) 報告第5号 ノッタラインの新車両運行開始について
 - 事務局より資料に沿って説明
 - ・ 現在、「ノッタライン」で運行している車両は、老朽化が進んでいること、乗降口が高い設計となっていることから、町では平成30年6月に小型のノンステップバスという、バリアフリーに対応した新車両を購入した。また、車両のデザインは岩内高校美術部が考案し、岩内町をイメージした親しみやすいデザインとなっている。
 - ・ この新車両は7月1日(日)午前9時から運行を開始する。当日は、運行開始セレモニーと新車両の内覧会を開催する。

[質疑応答]

〈 A 委員 〉

- ・新車両には、車いす用のスロープが付いていると資料に記載していますが、スロープをつけて車いすを押してくれる方はドライバーでしょうか。また、1名乗せるのにどれくらい時間がかかりますか。それによって運行ダイヤに影響はありますか。

〈 事務局 〉

- ・車いすの乗り降りの所要時間については、まだ新車両が納車したばかりで検証や練習はしておりません。場合によっては、運行ダイヤに影響がででることも考えられます。
また、運行事業者であるニセコバス(株)では、できる範囲で車いすの方の対応をしていただけると聞いています。

〈 A 委員 〉

- ・車いすの方がいたら間違いなく乗れますか。場所によっては、歩道との段差等があり、乗ることができないと思いますが。

〈 事務局 〉

- ・その方を介護している人がいる場合や歩道の段差などの状況にもよりますが、場合によっては乗れないということがあるかもしれません。

〈 A 委員 〉

- ・今運行しているバスが満員になった場合の対応はどうしていますか。

〈 事務局 〉

- ・これまでも年金の支給日やスーパーの特売日に満員になってしまい、乗れないということが発生していました。そのため、事前にバスが混みそうな日が予想できる場合は、大きい車両で運行しています。また、これまでも通常のバス事業では定員がありますので、満員になった場合はお断りしている状況であります。今後こういった事象が発生した場合には、お断りせざるを得ないということになります。

〈 A 委員 〉

- ・それは、失礼だなと思います。以前、東山団地のお客さんから「ノッタラインに乗れなくて7人も余されてタクシーを呼んだ」という話を聞きました。東山団地の時点で7人も乗れなかったら、相当な人数になります。そういう時の対応も考えた方がいいと思います。

〈 事務局 〉

- ・そのことについては、ニセコバスの方からも伺いまして、年金の支給日や特売には大きいバスで運行するようにそのときから変えています。新車両については、定員が少し増えますので様子をみながら対応していきたいと考えています。

〈 A 委員 〉

・ どういう風に対応していくのですか。

〈 事務局 〉

・ 新しい車両は32人乗れますので、それでも乗れないような状況であればニセコバスと話をして大きなバスで運行する日を決める、ですとか。

〈 A 委員 〉

・ その時点ではもう間に合わないということですね。その日は

〈 事務局 〉

・ はい。その日にはすぐには車両を変えられませんので、間に合わないこともあると思います。

〈 A 委員 〉

・ ノッタラインは好評だからそうなると思いますが、バス停で余された人はどうしたらよいかかわからないという人がたくさんいると思います。待つものなのか、次のバスがくるものなのか、この状況を考えた方がいいと思います。

・ また、6月18日にノッタラインの車両が、運行中に突然壊れた現場をみました。営業中に営業車が止まったら大変なんですよ。その辺に関しては、どういふ対応をしたんですか。

〈 事務局 〉

・ 事業者からは、そういうことが起きましたのですぐ代車の方で対応しています、という報告を受けています。

〈 A 委員 〉

・ バスの運行ダイヤに影響はありましたか。

〈 事務局 〉

・ 細かな影響があったことは把握していません。

〈 A 委員 〉

・ それも把握しておかないとだめなことではないですか。どのくらい影響があったか、運行をストップした時点できつとお客さんに言われると思いますが。

〈 ニセコバス(株) 〉

・ 18日の車両の件については、確かにその場で停まってしまったということがありましたので、時間がかかりましたが代車で運行をしております。今回は、営業中の車両の故障ということで、一ヶ月以内に運輸局へ報告する必要があるため、手続きを進めています。

〈 会長 〉

・ 新型バスで車いすを対応した場合のダイヤへの影響や、満員で乗れない時の対応について、厳しいご意見がでましたので事務局の方で検討対応します。

報告第1号～5号 ⇒ 承認

4. 議題

1) 議案第1号 平成30年度協議会予算(案)について

○ 事務局より資料に沿って説明

- ・ 協議会会計の予算は、歳入歳出は同額の148,000円となっている。歳出の主な内訳は、アドバイザー謝礼や事務局の旅費、「広報いわない」印刷料、たら丸ポイントカード負担金などとなっている。

議案第1号 ⇒ 質疑なし

議案第1号 ⇒ 承認

2) 議案第2号 平成31年度岩内町地域内フィーダー系統確保維持計画(案)について

○ 事務局より資料 2)に沿って説明

- ・ この計画は、高齢者や障がい者等の交通弱者の通院、買い物などの町内移動や幹線交通への接続。また、住民ニーズに合った交通サービスの提供と、公共交通の利用拡大を行うことで、住民がより安全で安心な暮らしを実現するための持続可能な地域公共交通の確保・維持・改善を目的、必要性としている。
- ・ 事業の目標は、公共交通の確保やバスを利用しやすい環境の整備を継続して行い、誰もが安心して利用できるよう、バスの定着を目指すことを目標とし、数値目標は、コミュニティバスの年間利用者数、32,000人。
- ・ 平成31年度の国庫補助上限額については、3,095千円を予定。
- ・ 車両の取得に係る目的・必要性については、現在、「ノッタライン」で運行している車両は、老朽化が進んでいることと乗降口が高い設計となっていることから、町では、平成30年6月に小型のノンステップバスという、バリアフリーに対応したバスを導入したことを記載。
- ・ 「利用者等の意見の反映状況」については、各種団体、利用者等から構成している本協議会委員からの意見の反映、また、今年6月からノッタライン利用者アンケートをノッタラインの車内や、役場、岩内バスターミナルに設置し、利用者からの意見を聴取している。

議案第2号 ⇒ 質疑なし

議案第2号 ⇒ 承認

5. その他

〈 事務局より 〉

1) 利用者アンケートの結果について

- ・今年3月から実施している、利用者アンケート「目安箱」の5月分までの集計結果について、資料 3のとおり説明。
- ・このアンケート結果と実際の需要傾向などを検討材料とし、運行事業者と情報共有を図りながら、これからの事業の維持・改善に努めていきたい。

2) 本年3月末に廃止となった旧岩内円山線の廃止への対応について

- ・円山線廃止に伴う今後の対応としては、現在、新たな交通サービスの進め方について、観光振興の観点から組織される連携会議での検討内容や、今後のリゾート開発やパークゴルフ場の増設などによる需要予測、アリスの里に定住する住民の高齢化の進展などを踏まえ、需要に見合った新たな交通形成のあり方を、協議会の中で合意形成を図りつつ、検討を進めていく必要があると考えている。
- ・また、運行開始から2年を迎える「ノッタライン」については、全体の停留所配置のバランスや、各停留所の乗降人数、利用者からの意見・要望などの情報整理を進めている。その中で、旧岩内円山線のルートであった野束団地周辺の路線見直しについては、運行事業者と具体的に検討している段階であり、条件が整った段階で、協議会での議論を踏まえ、実施に向けて取り組んでいきたい。

3) これからの地域公共交通の確保・維持・改善の進め方について

- ・意見・要望への迅速な対応も大切ではあるが、多様な住民ニーズを全て網羅することは現実的に困難なため、地域経営の一環で考える観点が重要であり、最終目標として、まちづくりや地域活性化、安全・安心な暮らしに繋がる「持続可能な地域公共交通」の実現に向けて、取り組んでいかなければならないものと考えている。
引き続き、地域の特性や交通サービスの実現性、住民ニーズとのバランスなどを十分に見定めながら、協議会での合意形成を図りつつ、地域に合った地域公共交通の形成を進めていきたい。

【 質疑応答 】

〈 B委員 〉

- ・今の岩内町の公共交通の一つの問題は、バス1台ですべての町内をカバーするというで議論されていると思いますが、1台でいくらコンパクトな岩内町であっても厳しいなと思います。その中で円山線の廃止後の対応ということであれば、本当にバス1台で地域に根ざした持続可能な公共交通ができるのか、バスに乗る人も最初に乗って降りるまで30分以内でなければと思います。そういう意味でこの公共交通の協議会で、もっと岩内町にあった公共交通としていきたいということであれば、バス1台の議論を進めていくのか、カバーをしながら小型車両をいれた議論をなすべきなのか、この場で考えていくべきだと思います。特に高齢者が増えていく状況の中で、この機会が有意義な会議になればと思います。

〈 会長 〉

- ・貴重なご意見ありがとうございました。

6. 閉会